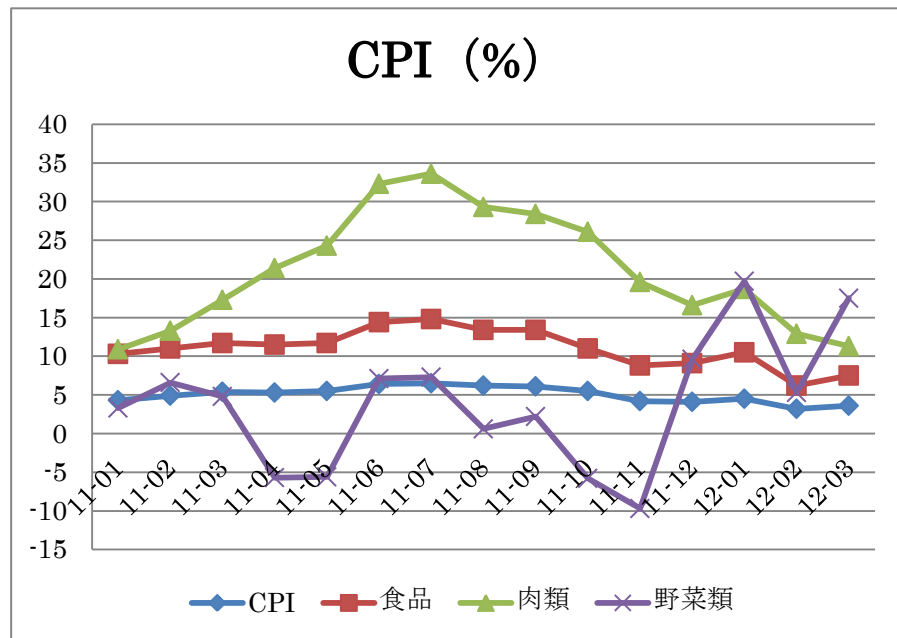


今週金曜、13日には第1四半期のGDPが発表される。中国のGDP発表はいまや世界を一喜一憂させるほどの影響力を持つようになってきている。昨年末から年初しばらくは「第1四半期の成長率は8%を切るのではないか」という声も聞かれたが、最近は、「思ったほどの減速にならないだろう」として7.8~8.5%、中間値で8.2%を予想する声が強くなっているようだ。

4月9日、国家統計局は3月のCPIを発表。

消費者物価指数は前月より0.4ポイント上昇して3.6%の上昇となった。構成要素別に見ると食品、特に野菜類の値上がりが昨年末より続いており、これが今回のCPI上昇に大きく貢献したものと見られる。




◎アメリカ議会 US-China ESRC による中国次世代指導者予想

アメリカ議会の「U.S-China Economic and Security Review Commission」は、3月23日、「The Chinese Communist Party and Its Emerging Next-Generation Leaders.」と題するスタッフレポートを発表し、その中で次世代の中国トップ指導者9名の予想を行った。

同レポートによる顔ぶれは下記ファイルのとおりだが、このファイルに入らない有力候補者 (Wild Card) についてもコメントがなされており興味深い。ファイルのURLは以下のとおり。

<http://www.uscc.gov/>

Figure 4:
A Possible Line-Up of the Future CCP Politburo Standing Committee?
(2012 – 2017, following the 18th Party Congress)

Candidate for the Politburo Standing Comm.	 Xi Jinping 习近平 (Princeling)	 Li Keqiang 李克強	 Wang Qishan 王岐山 (Princeling) Potential Alternate Candidate: Yu Zhengsheng	 Liu Yandong 刘延东 (Princeling)	 Yu Zhengsheng 俞正声 (Princeling) Potential Alternate Candidate: Wang Qishan	 Liu Yunshan 刘云山	 Wang Yang 汪洋 Potential Alternate Candidate: Wang Qishan	 Li Yuanhao 李源潮 (Princeling)	 Meng Jianzhu 孟建柱
Probable Title(s)	CCP General Secretary; PRC President; Chair, CMC	PRC Premier	Chairman, National People's Congress	Chairman, Chinese People's Political Consultative Conference	President, CCP Central Party School	N/A	PRC Executive Vice-Premier	Director, Central Discipline Inspection Comm.	N/A
Portfolio	All Policy Areas / lead voice on foreign pol. (Chair, Foreign Affairs LSG)	Economics / Domestic Policy (Chair, Economics & Finance LSG)	General / Economic Policy	United Front Activities (Chair, United Front Work LSG)	Party Affairs (Chair, Party Building LSG)	Propaganda (Chair, Ideology & Prop. LSG)	Economics / Domestic Policy (Vice-Chair, Economics & Finance LSG)	Anti-Corruption	Security (Chair, Politics and Law LSG)
Year / Place of Birth	1953, Shaanxi Province	1955, Anwei Province	1948, Shanxi Province	1945, Jiangsu Province	1945, Zhejiang Province	1947, Shanxi Province	1955, Anhui Province	1950, Jiangsu Province	1947, Jiangsu Province
Previous Positions	PRC Vice-President; Director, Central Party School	Liaoning CCP Secretary; Henan Governor and CCP Secretary	Mayor of Beijing; Exec. Chairman, Beijing Olympic Committee	State Councilor; United Front Work Dept. Deputy Director	Hubei CCP Secretary; Minister of Construct.	Director, Central Publicity Dept.; Inner Mongolia CCP Deputy Secretary	Chongqing CCP Sec.; Vice-Min., Natl. Dev. and Reform Comm.	Jiangsu CCP Secretary	Jiangxi CCP Secretary; Shanghai Vice-Mayor
Factional Affiliation	Princeling / Shanghai Clique	CCYL Faction	Princeling Party	CCYL Faction	Princeling Party	CCYL Faction	CCYL Faction	CCYL Faction	Shanghai Clique

習近平 (1953.06) 総書記、国家主席、中央軍事委員会主席
 李克強 (1955.07) 総理
 王岐山 (1948.07) 全人代常務委員長
 劉延東 (1945.11) 政治協商会議主席
 俞正声 (1945.04) 中央党校校長
 劉雲山 (1947.07)
 汪洋 (1955.03) 副主席
 李源潮 (1950.11) 中央紀律委員会主任
 孟建柱 (1947.07)

◎ブルックリン研究所レポートが発表される

アメリカのブルックリン研究所は、3月30日、Addressing U.S.-China Strategic Distrust と題するレポートを発表した。このレポートでは、アメリカと中国の間は様々な交流の拡大にもかかわらず根本的な相互不信が根強く存在しており、かつ、

両国における政治体制や価値観の違いがこうした相互不信を増幅しがちであるとして、アメリカ側が中国の投資を積極的に受け入れることや中国側が政治体制の透明化に努めること等の提言を行っている。中国側は北京大学国際関係学院の王緝思院長が、アメリカ側はブルックリン研究所の中国センターKenneth Lieberthal 所長が執筆し公開した。

http://www.brookings.edu/papers/2012/0330_us_china_lieberthal.aspx

◎著作権法改正案がパブリックコメントに

3月31日、「中華人民共和国著作権法修正案」のパブリックコメント稿が発表された。主な内容は著作権管理団体を法律上位置付けて、原則としてその管理団体に著作権の管理を委託することで、音楽はじめ著作物の流通を促進しようとするものと思われる。一番話題になっているのが新46条で、日本では「発売後三カ月たてばコピーし放題になる」とも言われているようだが、条文を読む限りコピー可能となるのは音楽配信サイトやCD発行者等業として著作物を複製する者に限られ、その場合も著作権者に対して著作権料を支払うことが義務付けられている。(当然ですが。)なお、パブリックコメントは4月末まで受付中である。

<http://www.ncac.gov.cn/cms/html/309/3502/201203/740608.html>

◎中国の食品雑貨小売市場がアメリカを抜き世界最大に

イギリスの食品雑貨業界調査会社IGDがこのほど発表した報告によると、2011年の中国の小売売上高は6070億ポンドで、米国(5720億ポンド)を350億ポンド上回り、世界最大となったという。同社は同時に2015年の食品雑貨小売市場規模も予想、日本がランクを落とす一方、BRICsが躍進するとした。

(食品雑貨小売市場規模(10億ポンド))

2011年		2015年	
中国	607	中国	918
アメリカ	572	アメリカ	675
日本	254	インド	385
インド	244	ロシア	292
ブラジル	212	ブラジル	287

<http://www.igd.com/index.asp?id=1&fid=6&sid=25&tid=90&cid=2327>

◎中国の携帯電話利用者が10億人を突破

工業情報化部が3月30日に発表した通信業運営データによると、今年2月末時点で全国の携帯電話利用者が10億700万件に達し、初めて10億の大台を突破した。なお、固定も含めた電話の利用者数は12億9000万件で、こちらは間もなく13億

を突破すると見られている。

◎息を吹き返す国産スマートフォン？深圳で国産スマートフォンの販売量が外国ブランドを上回る

華為、中興、酷派をはじめ、中国深圳には 2000 を超えるスマートフォンのブランドがあるとされるが、4 月 9 日付け深圳商報によれば、iPhone ブームで沈静化していた国産スマートフォンの売行きが再び高まりつつあり、販売数で外国ブランドを上回るようになったとのことである。国産スマートフォンの価格は 1 台 900 ～1600 元（1 万 2 千～2 万円）で、以前は台湾製が中心だったチップもインテルはじめ高性能なものを用いるようになりつつあるとのこと。iPhone 登場後しばらくたったこともあり、タッチパネル等部材の価格が下がってきたことも追い風になっているという。いったん消えかかった「山寨」の火はどうかすぶり続けていたようで、今後続々と新しいブランドが誕生してきそうな気配である。



↑ 深圳市華強路の電子部品マーケット。（2012 年 4 月写す。）

（以上）

Disclaimer: 本資料中の数字は注意してチェックしていますが正確さを保証するものではありません。

文章中意見にかかる部分は個人的見解でありいかなる組織の意見でもありません。

【付録】 中国の対外投資マップ

Heritage Foundation は中国の対外投資の動向をわかりやすいインタラクティブマップで提供している。これを見ると中国の対外投資にとって日本は非常に小さなウェイトしか占めていないことがよくわかる。今後、国内で体力をつけた企業群による対外投資の本格化が言われているが、このマップはその一覧性で非常にわかりやすく参考になるのでここに紹介させていただきたい。

<http://www.heritage.org/research/reports/2012/01/china-global-investment-tracker-2012>

